

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や画像のデータ、病理検査の結果を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテなどの情報を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

術後病理診断で浸潤癌部分が判明した症例の臨床病理学的因子の検討

【研究機関】 愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科学

【研究責任者】 亀井 義明（肝胆膵・乳腺外科学 講師）

【研究の目的】

手術前の針生検では腫瘍の一部のみを採取するため、手術前に全体の評価を行うことは非常に困難で、手術前に非浸潤性乳管癌と診断されても、手術後の病理診断で浸潤癌の部分を認めることがあります。

手術前に針生検で非浸潤性乳管癌と診断されたにも関わらず、手術後の病理診断にて浸潤癌部分を認めた患者さんに対して、臨床的な特徴と病理学的な特徴との関連を調べる研究を行います。

浸潤癌部分の有無により治療方針が異なる場合があるため、手術前に浸潤性乳管癌と診断できれば、より適切なタイミングで適切な治療を受けることができ、今後の診療にも役立つ可能性があると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）手術前に非浸潤性乳管癌と診断され、愛媛大学医学部附属病院にて2011年10月から2021年9月までに手術を行った患者さん。

（利用するカルテ情報）性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特

定できる情報は一切含まれません。

【情報管理責任者】 肝胆膵・乳腺外科学 医員 日下部 恵梨菜

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院乳腺センター センター長 亀井 義明
〒791-0295 愛媛県東温市志津川
電話番号：089-960-5327